

### 3. 地域福祉の展開

#### (1) 基本理念

年齢や障がいの有無などに関わらず、誰もが住み慣れた地域で、安心・安全に、生きがいをもって暮らし、ともに支え合い、助け合える「地域共生社会」を実現するため、次の基本理念を設定します。

支え上手 支えられ上手な人があふれる まち 西淀川

『支え上手（な人）』とは、困っている人に気づいたら積極的に声をかけたり、ちょっとしたお手伝いができる人のことです。

『支えられ上手な人』とは、しんどい時は「助けて!」と気軽に言うことができる、ご近所の人などに頼ることができる人のことです。

『あふれる まち 西淀川』とは、西淀川区において、『支え上手 支えられ上手』といった、顔と顔の見える関係、地域とのつながりのある人を増やしていくことを意味しています。

#### 《コラム・豆知識》

##### 持続可能な開発目標（SDGs）とは？

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

※SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称のこと

**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS**

## (2) 基本目標・方向性

基本理念「**支え上手 支えられ上手な人があふれる まち 西淀川**」の実現に向けて、地域福祉を具体的に推進するため、次のような基本目標を設定し、施策や事業を展開していきます。

### ① 気づく

日々の暮らしの中で、家族や近所のみなさんのことをじっくり見る機会がありますか。生活に苦しんでいる方、悩みや不安を持っている方、介護や支援を必要とする方などはおられませんか。その人たちに何ができますか。どこに連絡する（つなぐ）ことが良いと思いますか。地域福祉は、<sup>ひとこと</sup>他人事ではありません。明日の自分の問題かもしれません。

そこで、忙しい毎日ですが、少し立ち止まって、自分でできることやできないことに気づきましょう。そして、改めて地域福祉に関することなどを学びましょう。

### ② 知り合う

社会には、いろいろな方がいます。言語や宗教、文化などが異なり、さまざまな価値観や生活習慣の人がいます。また、本人や家族に心身の病気や障がいのある方もいます。あいさつはしていますか。あいさつしている人のことをどこまでわかっていますか。また、自分のことをどこまで伝えてありますか。

人はひとりでは生活できません。いろいろな人と知り合い、助け合い、支え合うことで安心して安全に生活することができています。

そこで、住み慣れた地域に、どのような人がいるかを知って、自分ができることや人にしてほしいことなどを伝え合ひましょう。

### ③ 助け合う

あなたは、生活を送る上で、他の人に助けてほしいと思ったことはありませんか。また、困っている人を見かけた時などに、手を貸したり、声をかけたりしたことがありますか。助けてほしいと思ったり、助けたいと思っても、自分ひとりでは対応できるものではないかもしれません。その時にこそ、さまざまな相談先や相談窓口があるのです。直接でなくても、相談先や相談窓口などの情報を知ったり、教えたりするだけで助かる・助けられることもあります。

誰でも、助けてほしい・助けたいと思うことがあるはず。ボランティア精神とも言えると思います。

そこで、自分ができること・できないことを自分で把握するとともに、どのような時に、どこに相談したら良いのかなどを知るように努め、お互いに助け合い・支え合う関係づくりを創っていきましょう。

### ④ 届ける

情報化が進み、いろいろな情報があふれています。人の人権を侵害したり、犯罪へと

導くような情報もあります。もちろん生活に役に立つ情報もたくさんあります。一方では、安心して安全な生活を送るためには、支援やサービスが必要な人がいます。しかしながら、情報機器の操作や言語などの問題により、支援やサービスの利用などに関する情報を入手することが難しい人も多くいます。

情報だけでは解決できないかもしれませんが、必要とする情報を得て、適切に相談することが、生活課題を解決する第一歩です。

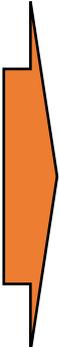
そこで、支援やサービスが必要な人に、どのような支援や情報などが求められているのかなどを把握しつつ、必要と思うさまざまな情報を伝えていくとともに、課題解決やサービス利用に向けて案内・誘導するなど、助けたい・支えたいとのあなたの思いを届けるように心がけていきましょう。

## ⑤ 活かす

地域では、ふれあい喫茶や見守り活動をはじめ、さまざまな行事やイベントが行われています。しかしながら、内容がマンネリ化している、参加者がいつも同じ、スタッフが足りないなどのさまざまな問題があげられています。

行事・イベントは、地域住民の交流や親睦、お互いを知るきっかけとなる重要な取り組みです。また、見守り活動などは、日常生活の安心につながる重要な活動・仕組みです。

そこで、今までの行事やイベントの当初の目的を再認識し、その目的に沿った内容などを検討するとともに、自分たちの地域で、有用・効果的な福祉活動を精査するなど、今までの取り組みや活動を振り返り、活性化していきましょう。

基本理念	基本目標・取り組みの方向
<p style="text-align: center;">支え上手 支えられ上手な人があふれる まち 西淀川</p> 	<p><b>(1) 気づく</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域の話し合いの場づくり</li> <li>② 福祉を学ぶ場づくり</li> </ul>
	<p><b>(2) 知り合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 見守り活動の拡充</li> <li>② 多様な居場所づくり</li> <li>③ 交流の場づくり</li> </ul>
	<p><b>(3) 助け合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常的な活動</li> <li>② 資質・能力などの向上</li> <li>③ 相談・支援体制の充実</li> </ul>
	<p><b>(4) 届ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 情報提供・情報発信の充実・工夫</li> <li>② 新たなサポーターの発掘・活用</li> </ul>
	<p><b>(5) 活かす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域活動の展開</li> <li>② 新たな活動の創出</li> </ul>

## 4. 具体の取り組み

### (1) 「気づく」の取り組み

あなたは、自分のことがわかっていますか。また、地域や地域福祉の取り組みで、自分は何ができるか、できそうかなどを考えたことがありますか。

そこで、自分のこと、自分ができることを改めて「気づく」とともに、地域のみなさんとともに、地域のことやさまざまな取り組みなどを話し合ったり、学んだりする機会を創出します。

#### ① 地域の話し合いの場づくり

名称・内容	実施主体
<b>1) (仮称) 福祉語ろう会の開催</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内各地域において、地域のみなさんが、地域活動や地域福祉活動などに関して、日頃思っていること・感じていることなどを自由にかつ気兼ねなく話し合い、解決策などを一緒に考える「(仮称) 福祉語ろう会」などの開催に努めます。</li> <li>各地域が抱える課題などを共有化し、課題解決に向けての具体的な活動・取り組みを検討します。</li> </ul>	区役所 区社協 地域

#### ② 福祉を学ぶ場づくり

名称・内容	実施主体
<b>1) 福祉教育の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学生や高校生などが、障がい者や乳幼児世帯などの現状や問題などを知ったり、経験したり、交流することで、福祉に関する意識や経験を深め、ボランティア精神などの向上を促進します。</li> </ul>	学校 区社協 事業所
<b>2) 福祉体験イベントの提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や障がい者などに対する理解を深め、接し方などを学ぶ機会として、福祉施設や事業所などの協力を得て、高齢者や障がい者などのさまざまなハンディキャップや福祉機器の操作などを体験する機会を提供します。</li> </ul>	区社協 事業所 地域
<b>3) 福祉の学習会・勉強会の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉などに関する最新の事例や取り組みなどを学ぶことができるよう、学習会を企画・運営します。</li> <li>地域の福祉課題などを地域の活動者などで共有化し、解決策・新たな地域活動の展開を検討する機会を充実します。</li> </ul>	区役所 区社協 地域

## (2) 「知り合う」の取り組み

地域には、生活に関する悩みや困りごと、不安などを抱えていながら、誰にも相談できない人がいます。一方では、地域には、福祉に限らず、さまざまな資格や技能、経験などを有する人がいます。

そこで、住み慣れた地域に、どのような人が住んでいて、どのような困りごとや悩みなどを有しているかなどを把握し、どのような支援を必要としているかなどを「知り合う」場・機会を充実していきます。

### ① 見守り活動の拡充

名称・内容	実施主体
<b>1) 見守りネット倶楽部の拡充</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人が協力して、高齢者や障がい者、乳幼児のいる世帯などに、あいさつや声かけなどゆるやかな見守りを行い、安否確認とともに、近況や困りごとなどを話し合っています。</li> <li>引き続き、多くの地域で展開できるように、「見守りネット倶楽部」の立ち上げを支援するとともに、既存の取り組みの拡充に努めます。</li> </ul>	地域 区社協 区役所
<b>2) 見守り体制の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の見守り活動などで、地域との関りが薄く孤立している人や行方不明となる認知症高齢者や気になる人の状況などを確認し、適切な支援などにつなぐため、見守り相談室（見守り支援ネットワーク、地域福祉活動支援コーディネーターなど）や関係機関などとの連携・充実に努めます。</li> </ul>	区社協 区役所

### ② 多様な居場所づくり

名称・内容	実施主体
<b>1) “ふれあいサロン”等の活性化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域では、誰もが気軽に集い、交流できる場として「ふれあい喫茶」や、乳幼児世帯の交流を図る「子育てサロン」などが開かれています。</li> <li>取り組みの趣旨やねらいを再認識し、より多くの方と交流やふれあいなどができるよう、活性化を促進していきます。</li> </ul>	地域 区社協
<b>2) 新たな居場所づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>団体や各種グループなどが空き家や空き店舗・フリースペースなどを活用し、誰もが気軽に集い交流できたり、食事や健康づくり、学習・教育、生きがいづくりなどに取り組むことができるよう支援していきます。</li> </ul>	団体等 区社協 区役所

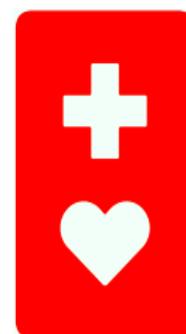
### ③ 交流の場づくり

名称・内容	実施主体
<b>1) 多文化交流会の展開</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域と外国にルーツを持つ人びとと、食などの文化を通じて交流できるよう、関係機関の協力などを得て、料理教室や食事会などの交流に努めます。</li> </ul>	団体 地域 区役所 区社協
<b>2) 異業種・異団体交流の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内のさまざまな事業所や NPO 団体などが福祉をキーワードにつながり、交流を図る機会として「にしよどリンク」や「MAIDO にしよど」などの充実に努めていきます。</li> <li>福祉にとどまらず生活に関連する事業所や地域などとの交流・つながる場づくりに努めていきます。</li> </ul>	事業所 団体 区社協 区役所
<b>3) ボランティア交流の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内のさまざまなボランティア団体やグループなどが集い、交流・活性化を図る機会として「ボラセン GO！連絡会」の拡充に努めていきます。</li> <li>区民にボランティアグループや活動などをアピールし、活動への参画を促すきっかけとして、「にしよどがわボランティアエキスポ」の拡充に努めていきます。</li> </ul>	団体 区社協 区役所
<b>4) 多様な交流活動の活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>人と人のつながりやふれあいを目的とし、区内各地で展開されている「にぎわいイベント」などを活用し、福祉や地域福祉活動に対する興味や関心の高揚に努めます。</li> </ul>	地域 団体 事業所 区役所 区社協

#### 《コラム・豆知識》

##### ◇ヘルプマーク

援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成された。このマークを見かけたら、電車で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。



##### ◇マタニティマーク

妊婦さんが交通機関などを利用する際に身につけ、周囲に妊婦であることを示しやすくするものです。

電車やバスなどで席を譲る、妊婦さんの近くでは喫煙しないなど、思いやりのある行動をお願いします。

